

様式13

# 会派視察研修計画書

令和 5年 6月27日

碧南市議会議長 様

会派名 市民クラブ

代表者名 石川輝彦

下記のとおり、視察（研修）を計画したので届け出ます。

参加議員	石川輝彦 ・ 神谷悟 ・ 杉浦文俊	
日時	令和 5年 8月 2日（水）～令和 5年 8月 4日（金）	
視察先	8/2 山梨県山梨市役所 /3 千葉県市川市役所 /4 東京都大田区南六郷創業支援施設	
研修内容	8/2 山梨市立産婦人科医院設置事業について /3 まごころゾーンの取り組みについて /4 大田区南六郷創業支援施設について	
日程	8/2 山梨市役所 15:00～ 宿：ホテルルートインコート山梨 山梨市上石森吉187-3 0553-23-2011 /3 市川市役所 13:30～ 宿：東急ステイ蒲田 大田区蒲田4-23-1 03-5714-1090 /4 大田区南六郷創業支援施設 10:00～	
交通手段	公共交通機関利用 乗降車駅名（ 碧南中央駅 ）	自家用車利用 _____台 所有者名（ _____ ）

（議会事務局記入）

旅費の額	(内 訳)
円	

## 会派視察研修報告書

令和 5年 8月25日

碧南市議会議長 様




会派名 市民クラブ

代表者名

石川輝彦

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加者議員 3人 分の視察研修成果報告書を添付いたします。

参加議員	石川 輝彦 ・ 杉浦 文俊 ・ 神谷 悟	
日 時	令和 5年 8月 2日（水）～ 8月 4日（金）	
視 察 先	山梨県山梨市 ・ 千葉県市川市 ・ 東京都大田区	
研 修 内 容	山梨市 結婚活動支援事業について 市川市 高齢者の自主活動『通いの場』の推進について 大田区 脱炭素に向けた取り組みについて	
視察先面会者 又は講師名等	山梨市 市長 高木晴雄、議長 土屋裕紀 健康増進課長 矢崎貴恵 市川市 議長 稲葉健二、街づくり部建築指導課長 野田晃正 大田区 道路交通部道路建設課長 戸枝秀行 議会事務局庶務調査担当 山田健太 指定管理者（株）ツクリエ 太田尚緒美	
 ≪山梨市≫	 ≪市川市≫	 ≪大田区≫

※ 相手方から収受した資料の写しを添付してください。

## 視察研修成果報告書

令和 5年 8月25日

議員氏名

石川 輝彦

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

### 記

- 1 期 間 令和 5年 8月 2日（水）～令和 5年 8月 4日（金）
- 2 視察先 山梨県山梨市・千葉県市川市・東京都大田区
- 3 視察の種類 会派視察
- 4 視察の成果等

#### 【山梨市・・・山梨市立産婦人科医院設置事業について】

- ・公立病院の赤字経営が目立つ中、碧南市民病院においても法定内外の繰入金を投入しながら、院内の改革を行いながら経営を行っている。今回、日本で初となる公設民営で、経営は指定管理で行っている山梨市立の医院の設置事業の取り組みを勉強し、今後の碧南市民病院の経営に繋げるため、視察研修を行った。
- ・山梨市立産婦人科医院は、平成25年度より設置の計画がスタートし、平成29年6月30日に開院した。
- ・公設民営で開設した理由は、①産科の医師が年々減少し、地域の周産期医療は減少の一途をたどっている。②分娩・産後の支援が得られない母親が増加し、産後うつや児童虐待の要因となっている。③山梨市唯一の中村産婦人科医院が山梨市駅南口開発事業で移転を余儀なくされたことにより、行政の責任として、安心して子供を産み育てられる環境の整備のために、事業の計画を行い、開設に至ったとのことである。
- ・病床整備の考え方としては、山梨県内の分娩施設は年々減少しており、山梨市が含まれる峡東医療圏では1診療所のみとなっているため、山梨市駅からのアクセスが良い場所で、遠方からJR利用により訪れる方を想定し、19の病床を整備し、周産期医療の提供を行うこととして、事業を進められ、整備された規模として、敷地面積約4,882㎡、平屋（一部2階建て）RC構造で延べ床面積約1,650㎡、中小企業は職員用を含めて54台を整備している。
- ・この整備事業の総事業費は、約12億2,400万円であり、土地購入費は1億3,340万円、建設費用として約9億2,036円であり、運営に関しては、特命による指定管理者を選定しており、指定管理者は利用料金制による運営としているため、指定管理期間を20年、指定管理料をゼロ円とされていた。このことに加え、前年度の利益剰余金の18%を市に納付することとなっていた。この18%を市へ納付することに関しては、指定管理者（医院長）曰く、施設の賃貸料と考えていると言われていた。
- ・また妊娠出産包括支援事業として、宿泊型産後ケア事業や同じ看護師が対応する訪問型事業、



デイサービス事業（リラックスペース「ふわふわ」）の運営をされていた。

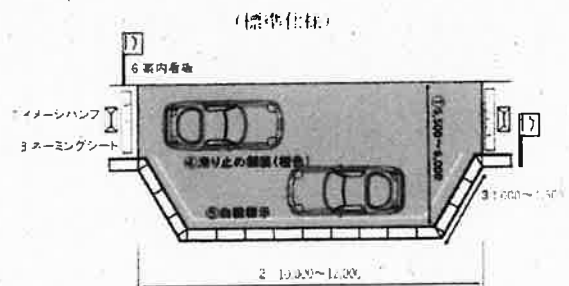
- ・医師や看護師の確保においては、大学に毎年1,600万円を寄附することにより、学生との距離を縮める取り組みを行い、学生との懇談では、忙しい医院ではあるが、だから3倍のスピードで育つことができる医院であると話をすることにより、医院の魅力度をアップさせているとのことである。



- ◇今回、視察した公設民営の病院は、産婦人科のみで小さな医院ではあったが、その分、指定管理者（医院長）のやる気が発揮されている医院であり、だから黒字経営に繋がっていると強く感じた。この仕組みや経営手法が総合病院でも同様な結果が出せるのかはわからないが、市民病院の黒字化に向けた経営手法の一つであると考え。今後、総合病院の先進的な経営手法を勉強し、碧南市民病院の黒字経営に繋がりたいと考える。

### 【市川市・・・まごころゾーンの取り組みについて】

- ・碧南市内においても、狭あい道路の解消がなかなか進まない中、地権者に土地の寄付を伴わない狭あい道路対策事業を進めておられる市川市のまごころゾーン事業を勉強するため、視察を行った。
- ・市川市は、東京都心から20km圏内であり、戦後の高度成長等に伴い急激に宅地化が進み、道路整備が追い付かないまま市街化が拡大してきた影響で、市内には車両のすれ違いも行えない幅の狭い道路が多く存在しているとのことである。今回の視察項目は、平成21年度に新市長に就任された大久保元市長の公約であり、これを契機に具体的整備方法や運用方法が策定され、事業化されたものである。
- ・まごころ道路整備事業は、道路を利用する方が思いやりを持って譲り合うことができる退避スペースであり、選定基準は建築基準法第42条第2項若しくは第3項の市道であり交通規制がされていなく、自動車の時間当たり通行量が30台以上かつ自動車・原付・軽車両の時間当たり通行量の和が100以上でなければならないとのことである。
- ・まごころゾーンは、幅員5.5～6.0m、延長10.0～12.0mが必要であり、測量も境界画定も市川市で費用が負担され、不動産鑑定士による不動産確定に基づき、土地の売買や保証契約を締結する。その後、市川市がカラー舗装や案内看板、イメージランプ、ネーミングシート等を整備していくとのことである。
- ・整備の実績としては、これまでに29か所を整備したが、年々整備実績が減少しており、令和3年・4年の実績はゼロである。
- ・狭あい道路対策においては、建築基準法に則り事業が進められており、道路内に電柱や植栽対が残ってしまったりセットバック後に縁石やプランター等がおかれてしまう事例が多いとのことであり、狭あい道路の全長が平成30年度現在で約230kmであったのに対し、令和に入ってからの実績は0.438kmである。
- ◇今回の視察により、道路は拡幅して欲しいが自らの土地を出すのは嫌だということが浮き彫



りになった視察であった。しかし、緊急車両等は通行できる道路幅は必要であるため、どうしたら地権者が前向きに考えていただけるのかを考える必要があり、今後さらに調査研究を進めたいと考える。

#### 【福岡市・・・大田区南六郷創業支援施策について】

- ・愛知県にもスタートアップ支援事業が創設されたように、新たに創業しようとする方が増加傾向にある。このような中、行政としての支援の関わり方を勉強するために、今回の視察を行った。
- ・大田区では羽田空港を持ち、その周辺で学校の廃校を利用し、中小企業の支援を20年ほど前から行っていたとのことである。今回、その施設の老朽化により、以前は土木事務所であった施設の再利用もかねて、その施設のイノベーションを行うことにより、今回のROKUGO BASEを約4億2,000万円費やし、新たに開設されたとのことである。
- ・ROKUGO BASEは、3階建ての施設であり、1階は事務室や受付、オープンスペース、セミナースペース、3Dプリンターが使用できる試作室等がある。2階では、登記が可能なワーキングスペースやシェアード オフィス、会議室等、3階では12戸に区切ったオフィスが設置されており、様々な相談に対応してくれるインキュベーションマネージャーさんが順番で常駐し、新しいビジネスに挑戦する起業家、企業希望者、中小企業の方を対象に、ワークスペース、ノウハウ、マッチングの機会を提供されている。
- ・利用されている方は20歳代の方から80歳を超える方までいるが、やはり30～40歳代が多いとのことである。
- ・運営は指定管理者となっている㈱ツクレアであり、指定管理料は1億5,000万円、利用者の支払う料金は全て区に入る契約となっている。

◇以前、私の一般質問で、ものづくりセンターの設置の考え方として、創業する方の相談窓口、さらには中小企業の研修のための場所、そして企業同士のマッチングの場が必要と提言させていただいたことがあるが、今回の視察は、正にそのものであった。新たな産業を碧南市で起こすためにも、新たな発想ができる場づくりを創設していくことが必要である。



## 視察研修成果報告書

令和5年8月25日

議員氏名 神谷 悟

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

### 記

#### 1 期 間

- ・令和5年8月2日（水）～8月4日（金）

#### 2 視察先

- ・山梨県山梨市
- ・千葉県市川市
- ・東京都大田区

#### 3 視察の種類

- ・会派視察研修（市民クラブ）（みらいクラブ）（公明党）

#### 4 視察のテーマ

- ・山梨市→山梨市立婦人科医院設置事業について
- ・市川市→まごころゾーンの取り組みについて
- ・東京都大田区→大田区南六郷創業支援施設について

#### ★目的

○私たち市民クラブは、みらいクラブ・公明党3会派合同にて、上記の日程で各テーマを取り上げ、各会派が今後の碧南市において参考になる取り組み実施している先進地を現地現物にてしっかりと調査研究したいと考え、今回視察をさせていただきました。

## ◆テーマ：山梨市立婦人科医院設置事業について（山梨市）

### □研修内容

#### ①背景

- ・産科の医師は、過重な労働条件や訴訟等の増加から年々減少していることに加え、産科医の大病院への集約化などにより、地域の周産期医療は減少の一途をたどっていた。
- ・分娩・産後を取り巻く状況について、従前は1週間程度の入院や実母や義母地域の支援が十分に期待できたが、昨今は、入院期間の短縮や、支援がえられない母親が増えており、そのことが産後うつ、児童虐待の要因になっている。

#### ②開設の理由

- ・山梨市における唯一の産婦人科医院である医療法人が山梨市駅南口開発事業により移転を余儀なくされたこと。
- ・行政の責任として、安心して子どもを産み育てる環境を整備。施設は市が用意し、運営は産科医療に精通している民間に指定管理者制度を導入して行う、公設民営の仕組みを取り入れていた。

#### ③分娩数の推移

- ・平成29年度→330件  
（山梨市91件、甲州市71件、笛吹市50件、その他118件）
- ・令和4年度→443件  
（山梨市118年、甲州市77件、笛吹市106件、その他142件）

#### ④運営

- ・指定管理者制度を導入して、特命により指定管理者を選定
- ・指定管理者は利用料金制により運営
- ・指定管理期間は20年間
- ・前年度の利益剰余金の18%を市へ納付

#### ⑤建設費用

- ・総事業費→約12億2,400万円

#### その他の取り組み

- ・宿泊型産後ケア事業
- ・訪問型事業
- ・ディサービス事業

### 【所感】

妊娠・出産・育児を支援し、山梨市及び、地域の将来に渡って継続した産婦人科医療を確保するため、全国初の試みとなる公設民営の有床産婦人科医院として開院し、

【山梨市視察の様子】



【山梨市立産婦人科医院にて】



【視察の様子】



分娩数は増加傾向となっております。

施設見学をさせていただき中村院長から説明を受けましたが、医師としての熱い想いや助産師さんの確保、医師不足の現状等をお聞きし、今後の出生率の向上に向けての取り組むべき対策の方向性など大変参考になりました。

中村院長とお話し、一番重要な着眼点として安心して出産・育児を迎えられるようにすること。子育ては嬉しい・楽しいと実感されて第2子第3子の誕生を希望する親を増やすことだと言われており、そのような観点から本市も施策を進めるべきであると思いました。

## ◆テーマ：まごころゾーンの取り組みについて（市川市）

### □研修内容

#### ①事業の目的

- ・道路を利用する方が思いやりを持って譲り合うことができるよう「まごころゾーン」と称する待避スペースを設け、地域にとって安全に安心して利用できる道路整備を早期に実現することを目的。

#### ②まごころ道路の選定基準

- ・自動車の1時間当たりの交通量が30台以上であり、かつ、自動車、原動機付自転車及び軽車両の1時間当たりの交通量と歩行者の1時間当たりの交通量との和が100以上であること。

【市川市視察の様子】

#### ③「まごころゾーン」の標準仕様

- ・幅員→5.5m～6m
- ・延長→10m～12m
- ・すりつけ長→1m～1.5m
- ・舗装→すべり止め舗装（橙色）
- ・白線標示→歩行空間0.75mを確保し、車道とみなし歩道の区域分けを行う



#### ④まごころ道路整備の実績

- ・工事完了箇所→29箇所
- ・事業費→約1億7500万円（1箇所当たりの事業費→約600万円）

【市川市議場にて】

### 【所感】

市川市のまごころゾーンの取り組みについて、視察をさせていただきました。本市にも同様な課題である狭あい道路対策がありますが、自動車が安全に通行できるように道路に整備するまでには、長い時間と多額の費用が必要である。市川市では、車両等がすれ違うためのスペースとして「まごころゾーン」という待避スペースを部分的に設けることにより地域にとって安全な道路環境を確保する取り



組みであり、本市においても施策として参考にすべきであると感じました。

また、まごころゾーンの場合は、地権者の負担を少なくするように建築物に影響しない未利用地や駐車場用地などを候補地として選定することにより、多くの時間を費やすことも少なく、狭あい道路対策よりもスピード感・費用等も少なく効果的であると感じました。

#### ◆テーマ：大田区南六郷創業支援施設について（大田区）

##### □研修内容

##### ①支援施設の目的

- ・新ビジネスに挑戦する起業家、起業希望者、中小企業の方を対象に、ワークスペース、ノウハウ、マッチングの機会を提供するための施設

##### ②支援の内容

- ・起業・経営相談→ニーズに合う適切な支援機関及びサービスの提供
- ・イベント→起業・経営に役立つセミナー、先輩起業家によるトークイベント、入居者によるビジネスピッチ、区内企業とのマッチング等の様々なイベントを定期的で開催
- ・試作室の提供→3Dプリンター、レーザーカッター等を設置。アイデアを形にした  
り、量産化の試作が可能  
【六郷創業支援施設視察の様子】
- ・コミュニティ→登記可能な入居フロアには、さまざまな業種、事業フェーズの会員が出入りするため、仕事の依頼や悩みを相談できる施設内では、駐在するコミュニティマネージャーがサポート



【六郷創業施設玄関前にて】

##### ③施設の詳細

- ・ワークスタイルに合わせて活用できるスペース
- ・ビジネスアイデアの創出やテレワークの場
- ・チーム・個人の事業を加速化させる場として多様な働き方やフェーズに合わせた利用が、可能
- ・開設日→令和3年10月1日
- ・階数→地上3階建
- ・オープンスペース・セミナールーム、試作室  
コワーキングスペース、シェアードオフィス



##### 【所感】

新規創業者や新分野進出を目指す中小企業を対象としたインキュベーション施設であり、様々な働き方・事業フェーズに合わせ、利用できる施設であり大変参考になりました。

インキュベーションマネージャーによるきめ細やか創業支援や各種イベント等も行い、創業の機運

醸成を促進しており、西三河にもこのような施設が開設されると良いと感じました。  
3日間の視察研修、本当にありがとうございました。

神谷 悟

## 会派視察研修報告書

令和 5年 8月 25日

議員氏名

杉浦文俊

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

### 記

- 1 期間 令和 5年 8月 2日（水）～令和 5年 8月 4日（金）
- 2 視察先 山梨県山梨市、千葉県市川市、東京都大田区
- 3 視察の種類 市民クラブ会派視察
- 4 視察の成果等

#### 《山梨市立婦人科医院設置事業について》・山梨県山梨市

- ・山梨県は山間部が多く、妊娠から出産までを担う有床医療施設の都市部への集中という課題を抱えている。分娩施設は平成16年に14病院、10診療所が近年では8病院、7診療所と落ち込む中、山梨市は安心して子供を出産し育てることができるようにと市として公設民営の産婦人科医院を建設し、運営は医療法人に委託し出産育児に加え、がん検診や相談等の途切れない支援を行っている。公設民営産婦人科設立の主な理由として、①過重な労働条件や訴訟問題による医師不足に加え、大病院への集約化による地域病院の減少問題の解決、②入院期間の短縮や産後支援の得られない母親の増加による、産後うつや児童虐待問題の要因解消、③駅前開発により、市で唯一の産婦人科医院の移転が余儀なくされたことがあげられる。
- ・運営は20年間の指定管理制度を導入し、委託料は発生せず指定管理者は利用料金によって運営され、さらに前年度の利益剰余金の18%を市へ納付しているにもかかわらず黒字経営であるという。その背景には、診療所が交通のアクセスのよい駅近くにあることで市内及び近隣市からの通院患者が多い点、新卒の看護師を多く抱えることで、宿泊型産後ケア事業、訪問型ケア、デイサービス型ケアと幅広い支援を行うことができている点が好評といえる。また過酷ではあるが医師の24時間体制勤務も、いつでも相談できるという点で、母親の支えとなっている。
- ・出産において、問題の無い分娩は地域の診療所が対応し、難産といった高度な技術が必要な分娩は大きな病院が担う仕組みが効果的であり、また産後相談のできる地域診療所があることは母親の安心にもつながる。碧南市では地域診療所はしっかりとその役目を担っていただいているが、今後診療所に限らず、公立民営化にする必要がある施設に対しどのような運営方法が適正であるのか、また民営化したほうが良い施設の検討など、行政として負担が多きくなることの無いよう注視していきたい。

#### 《まごころゾーンの取り組みについて》・千葉県市川市

- ・市川市は戦後の高度経済成長に伴い急激に宅地化が進み、道路整備が追い付かないま

ま市街地が拡大した影響で、すれ違いができない狭あい道路が多く存在している。その課題解決として「狭あい道路対策事業」「まごころ道路整備事業」を行い安心安全な生活道路の確保を目指すこととなった。

- ・「狭あい道路対策事業」は碧南市と同様に測量、整備を行政が行うことで後退用地の寄付を促し、用地取得を行い道路の拡幅を進めていく事業である。
- ・「まごころ道路整備事業」はセットバックが進まない道路の交通対策として市川市独自事業として開始された。狭あい道路の一部において、譲り合うことが容易にできる待避スペースを設けることで、地域にとって安全な道路環境を確保することを目的としている。道路の選定基準として、セットバックの必要とする市道である点。一方通行等の道路規制がなくすれ違いが起こる道路である点。一定以上の車両及び歩行者の交通量がある点と条件がある。その条件に合う道路に面する地権者に対して、売買契約もしくは賃貸借契約を結び用地を確保する。幅員は5.5m～6.0m、長さは約10mを目安としてすれ違いが行うことのできる環境を整える。整備した個所をまごころゾーンとし、利用者が一目でわかるようにカラー舗装や看板設置も行うため、費用は購入費を除き約600万円となる。
- ・碧南市においても狭あい道路は多く存在するため、問題解決は容易ではない。恒久的な解決には市民の協力を得て、セットバックをしていただく必要があるが、本当に必要な道路には「まごころ道路整備事業」のように暫定的だが、問題解決の一助となる整備を検討していく必要がある。

#### 《大田区南六郷総合支援施設について》・東京都大田区

- ・南六郷総合支援施設である「六郷BASE」は新ビジネスに挑戦する起業家や起業希望者、中小企業の新規事業展開を対象に作業場や事務所としてのスペースや、ノウハウ、マッチングの機会を設け、起業前から起業後の課題や悩みに寄り添い創業支援を行っている。施設利用は登録が必要なものに加え、一般開放しているスペースもあり、夏休みには小学生が利用するケースもある。登録スペースは席が決まっていないフリースペースを利用する「ワーキングスペース」、一人使用の個室「シェアードオフィス」、複数人で利用できる「オフィス」と別れており、そのスペースを会社の事務所として登録することが可能である。登録は区の審査を受ける必要があり、基本は3年間、再審査を受けることで最長5年間利用できる。また使用量は近隣物件に比べ安く設定しているが、4年目5年目とそれぞれ増加し、近隣物件と大差がない価格となる。利用者のアンケート調査としては、満足度は9割と好評で、理由として、人脈づくりや企業同士による新たな事業企画の立ち上げ、新たなノウハウを得る機会等、利用者間のコミュニケーションがとりやすい環境整備があげられる。運営については、5年間の指定管理をとっており、委託料は人件費設備費を合わせ1.5億/年となり、施設使用料は区の収益となる。管理業者は、講習会や面談といった支援に加え、大学等で周知活動を行い大田区で起業を目指す人材の発掘も行っている。
- ・碧南市においては、起業支援は補助金という形で行っているが、六郷BASEのように場所の提供は行っていない。目まぐるしく変わる社会に適用するため、碧南市に将来有益になる企業の発掘や他市へ移転されないように起業前からの支援は手厚く行う必要がある。また、新たな産業が誕生することで既存企業においても事業拡大のきっかけとなりうる点も含め、今後の碧南市の起業支援や企業支援について調査研究していきたい。